

青 垣

第7号 発行日 平成20年6月10日

雲南市立吉田中学校だより

雲南市飯南町中学総体 がんばった あなたが一等賞

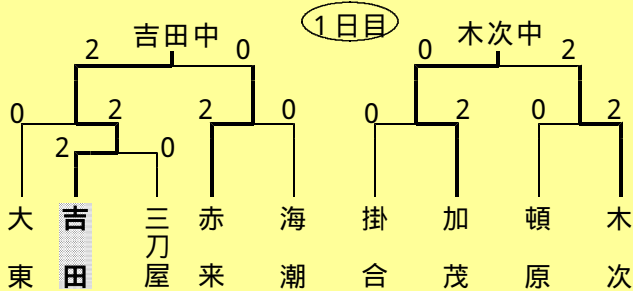
第4回雲南市飯南町総合体育大会が6月4・5日(水・木)に開催されました。加茂中学校を会場に行われた女子バレーボールの部では、吉中が準優勝をしました。また、加茂中央公園野球場で行われた野球の部では、吉中が第3位の好成績を収めました。

この結果、バレー部は7月22日～24日に隠岐の島町で開催される、島根県中学校総合体育大会への出場権を得ることができました。バレー部の県大会への出場は5年連続となります。

野球部は、平成13年度以来の島根県中学校優勝野球大会への出場を惜しくも逃しました。



準優勝 吉田中 県大会へ



敗者復活戦 勝者

Cゾーン：赤来中 Dゾーン：加茂中

2日目 A～Dゾーン1位によるリーグ戦

吉田中 1 - 2 加茂中
吉田中 2 - 1 木次中
吉田中 2 - 0 赤来中

結果：吉田 木次 加茂
の3校が2勝1敗で並
び、セット率で
1位 木次 2位 吉田
3位 加茂(県大会に)



練習の成果を十二分に発揮

バレー部 準優勝

野球部 第3位



～悔いの残らない試合とは～

選手たちはこの日を目標に練習に励んできました。3年間の集大成となるこの大会で、勝ち負けもですが、それ以上に「悔いの残らない試合を」と考えている選手が多数いたと思います。

私は、バレー会場の開会式で、競技委員長として、こんな事を話し選手たちを激励しました。

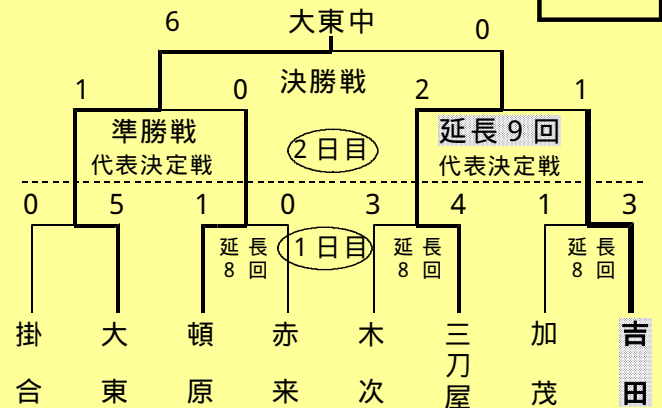
悔いの残らない試合やプレーをするためには、『「仲間を信じきり」「決してあきらめず」「最後まで上手になってやろう(向上心)』とする「一生懸命なプレー」をすることだ』と話しました。

吉田中学校のバレー部、野球部の部員たちは、自分が努力してきた事や、チームでやってきたことを信じ、そして、仲間を信頼しきった、最後まであきらめないプレーを、コートやグラウンドの選手、ベンチの選手・監督・コーチが一丸となり実践していました。

残念ながら両部ともに、優勝することはできませんでしたが、生徒は「自分に負けない」「悔いの残らない試合」ができたと確信をしています。

我事において後悔せず

3位 吉田中



手に汗握る二日間！！ ～一挙手一投足に一喜一憂～

【野球】1回戦、吉田と加茂の対戦は、一進一退の緊迫したゲームとなりました。お互いにランナーを出しながらも、手堅い守備で両者ともに1・2回は無得点。3回表に吉田がスクイズで1点を先攻、その後もお互いにランナーを出しながらも無得点のまま。しかし6回の裏、ツーアウトから加茂中に2本のヒットを打たれ1対1の同点。延長に入り8回の表、相手のエラーや吉田のヒットでワンアウト満塁、続くバッターがセカンドゴロ、ホームでフォースアウト、キャッチャーがすかさずファーストに送球、万事休すと思いきや、それが悪送球となり吉田はラッキーな2点。その裏、加茂の攻撃は2つのフォアボールで嫌なムード、しかし、最後はライトの超ファインプレーでゲームセット。守りきった吉中に「勝利の女神」が微笑みました。

S	B	O	H	E	F	TEAM	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	合計
						00100002													3
						0000010													1

がんばれ！ ツーアウト！ 響き渡る歓声・応援の声 ～グラウンドに汗と涙～

2日目は、三刀屋との対戦でした。1日目と同様、全く予断を許さぬ1点を巡る投手戦となり、守備力の如何が問われる試合となりました。5回の裏、吉田がスクイズで1点先攻。しかし、三刀屋に7回表ツーアウトからヒットで同点、延長9回表、ツーアウトから吉田の手痛いエラーで三刀屋のランナーが生還し勝ち越し。この1点が決勝点になり、残念ながら吉田は三刀屋に惜敗。延長に入ってから、吉田の強烈な当たりが何本も野手の正面を突いたのが勝敗の行方を決めました。残念ながら吉田中の県大会への出場はできませんでした。

S	B	O	H	E	F	TEAM	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	合計
						00000101													2
						00001000													1

吉中野球部員たちの、グラウンドとベンチが一体となった、仲間を信頼した全員野球は「爽やか」で多くの観客に「感動」を与えました。皆さんの一生懸命なプレーや、控え選手の今までの努力に大きな拍手を送ります。保護者、地域の皆様の応援に感謝をいたします。



民谷分校区 体育大会 開会式に参加して

民谷分校区体育大会が6月1日(日)に晴れ渡る青空の下で開催されました。当日は、諸般の事情により開会式だけの参加となりましたが、民谷校区の皆様にご温かく迎えていただき「ありがたく」また「早々の退散を大変申し訳なく」思いました。開会式だけの参加ということもあり、少し早めに民谷分校に出かけました。

民谷の朝は、陽光に照り映える水田と川のせせらぎがとても気持ちよく感じました。分校では、児童の皆さんや地域の皆さんの「おはようございます」の大きな声で迎えていただきました。校庭は見事に整備され、白線が鮮やかに引かれ、空には万国旗がたなびいていました。聞くところによると、昨日、児童と保護者の皆さん・教職員の皆さんの奉仕作業により体育大会の準備が行われたとのこと。この体育大会に寄せる、児童・保護者・教職員の意気込みが伝わってきました。また、周辺の川土手や路肩の草も、地域の皆さんによりきれいに刈られていました。



体育大会は、赤組・青組に分かれた全校10名の児童の皆さんの堂々とした入場行進(手がよく振れ、足もそろっていました)からスタートし、その後、宇山地区、民谷地区の一般選手の皆さんの入場行進がありました。児童の皆さんと大人の選手の皆さんの入場行進、それを温かな眼差しで見守る地域の皆さんに、子供たちへの思いや地域の願い、そして、地域の素晴らしさと連帯感を強く感じ取りました。校庭には、約120名の地域の皆さんの姿がありました。

開会式での、1年生のお子さんの丁寧でしっかりとした「児童代表あいさつ」、赤組・青組の組長さんによる思考をこらした大きな声での「選手宣誓」に、これまでの練習の成果を見て取ることができました。



お陰様で、民谷分校区の体育大会でも田井小の親子運動会同様、中学校においても『地域の皆様の期待に応えなければ』という更なる元気や勇気をいただきました。

～心安らぐ出会いが～

民谷分校から帰ろうと自家用車に向かう途中、お爺さんとお婆さんと仲良さそうに歩いてくるさん(吉中生徒)に出会いました。さんに「今から運動会に行くの」と声をかけ、祖父母の方とも「さり気ない会話」を交わしました。さんの腕には、大きなお弁当が抱えられていました。きっと美味しいお弁当を大勢の皆さんと食べたことでしょう。私はこの出会いに、ほのぼのとした安らぎを覚えました。